

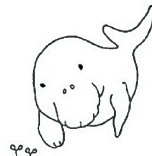
# ジュゴン Vol.67

## ちゃんぷるニュース



2013. 3. 26

### CONTENTS



- 2 ジュゴン保護覚書会議①
- 3 アセス訴訟判決
- 沖縄県に埋立反対の意見書を
- 4/5 沖縄大問題シンポジウム
- 補正評価書・埋立申請学習会
- おきなわ便り
- 8 お知らせ

安倍内閣は「4・28主権回復・国際社会復帰を記念する式典」を開催することを閣議決定しました。1952年4月28日が、サンフランシスコ講和条約と日米安保条約が発効した日で「占領下から脱却した日」(菅官房長官)としています。沖縄県民は「屈辱の日」と批判しています。日米安保条約を容認する仲井真沖縄県知事ですら「沖縄にとっては(日本から)切り捨てられた日だ」と批判しています。事実、沖縄は未だに占領下の状態で、米軍によるレイプや家宅侵入事件などが頻繁に起こっています。昨年9月にはMV22オスプレイが強行配備され、この3月末には沖縄県に新基地建設のために辺野古・大浦湾の埋め立て申請を強行しようとしています。沖縄のマスコミは4・28式典について「二度目の屈辱の日」(沖縄タイムス)、『主権回復式典』 過重負担押し付け祝宴か(琉球新報)と社説などで連日批判しています。

### 4・28 記念式典反対

## 闘いで国民主権を実現しよう

沖縄県全41市町村の代表が1月28日の上京行動で安倍内閣に「建白書」を提出しました。「建白書」には「オスプレイの配備撤回」「普天間基地の県外移設」を強調しています。沖縄県は昨年12月に「オスプレイの飛行実態の目視調査結果」を発表しました。日米両政府で決めた安全確保策の合意事項(市街地上空で垂直離着陸も度や転換モードで飛行しない等)が守られていない」と厳しく批判しています。3月上旬からは、本土・四国でもMV22オスプレイの低空飛行訓練が始まりました。日本の法律である航空法を無視した低空飛行訓練です。日米地位協定が日本の法律に優先しているのです。本土の沖縄化が進んでいるのです。沖縄から本土を見れば、国民に主権があるのか否かは一目瞭然です。安倍内閣が「主権回復の記念式典」を強行するのなら、「国民主権など二の次」の政治をしているのです。オスプレイ撤去、普天間基地の辺野古移設断念を実現する闘いで、国民主権を実現しましょう。

(事務局 蛭川義章)

[WEB] <http://www.sdcc.jp/>

[EMAIL] [info@sdcc.jp](mailto:info@sdcc.jp)



第2回ジュゴン保護覚書会議の様子(2面)



新しい署名を持って元気に街頭へ(4面)

フィリピンレポート  
～その1～

# SDCCがジュゴン保護覚書署名国会議に参加

—署名国事務局も SDCC の参加を評価—

2月19、20日の2日間、第2回ジュゴン保護覚書署名国会議がフィリピンの首都マニラで開催され、SDCCも参加しました。会議には、17の署名国と9の非署名国、アドバイザーやNGOなど26カ国、約60名が出席しました。

ジュゴン保護覚書はジュゴンと生息地の保全を国家レベル、国際レベルで進めるため、2011年に発効されま

した。48のジュゴン生息国中、今回の会議で署名した4カ国を加えると、現在25カ国が署名しています。日本はこの覚書に署名しておらず、署名国会議にも参加したことがありません。SDCCは政府の参加を促し、ジュゴンの国際ネットワーク構築のため、2年前に行われた第1回署名国会議から、代表メンバーを派遣しています。

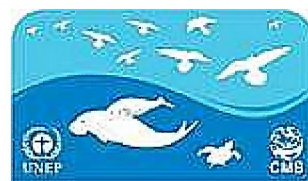
会議では、規定に関する協議やアドバイザーによるジュゴン保護・調査に関する講演、参加者の意見交換などが行なわれました。アドバイザーのヘレン・マーシュ教授（オーストラリア・ジェームスクック大学）は「ジュゴンと藻場の保護が直面する課題」の講演で、沖縄ジュゴンの話をされました。ヘレン教授はジュゴンを国際的に守る意義に関して、①政治的な動物であること、②繁殖能力が低いこと、③ジュゴンが食用にできること、④ジュゴン生息国の多くが経済的に貧窮していること、⑤生息や地域の状況が各国で異なり、1つの解決策では対応できないこと、の5つを述べました。「政治的な動物であること」の説明の中で、沖縄ジュゴンの背景とアメリカのジュゴン訴訟について、丁寧に説明をされました。会議中に、議長国のフィリピン以外の国が自国のジュゴンの状況を説明する機会はありませんでしたが、



この講演のおかげで他の国の方と沖縄ジュゴンの前提を共有した上で、交流することができました。

各国のジュゴン保護予算確保の苦勞を反映し、会議では保護施策の資金捻出や必要経費など、お金に関する質問や協議が多くありました。会議中にSDCCが発言する機会はありませんでしたが、会議終了後、日本は政府が参加していないので、SDCCのような日本のNGOが参加していることは重要であると事務局の方に言われました。

今回の署名国会議については、大阪で行われる総会（3月31日）で報告するだけでなく、4月の政府交渉時に、環境省に報告し、国際的なジュゴン保護の流れに参加するよう更に促したいと思います。（関西 正阿彌（しょうあみ））



ジュゴン保護署名国会議のロゴ(左)と CMS(移動性の野生動物種の保護に関する条約)のロゴ(右)



情勢

※沖縄県に埋め立て反対の意見書を※



沖縄防衛局は辺野古・大浦湾の埋め立て申請を3月22日に行いました。沖縄県が審査に10カ月は必要とする中で、来年1月予定の名護市長選挙前の承認を狙っているのです。しかし、名護市長は3月施政方針演説で「日米両政府が断念するまで、断固反対する」と強調し、名護市の隣、宜野座村など三漁協は反対決議を上げています。安倍内閣は焦っているのです。

埋め立て申請には、名護市漁協の同意書や「環境保全に関する措置」「埋め立て土砂の採取場所、量」などを記載した図書の添付が必要です。昨年3月、この埋め立て事業について沖縄県知事は「(沖縄防衛局の環境影響評価書では)生活環境、自然環境の保全を図ることは不可能」と判断しました。この知事意見を受けて沖縄防衛局は「一部修正」した補正評価書を再提出しましたが、環境保全措置についてはなんら変わっていません。沖縄県は「埋め立て申請は受けとる」としていますが、直ちに不承認処分すべきです。

沖縄県が申請を受理した時は、多くの市民とともに公告縦覧(3週間)に「利害関係人」として意見を出しましょう。辺野古・大浦湾の海を大事にしたい人、沖縄やジュゴンを愛する人はすべて「利害関係人」です。出した意見は「合理的な理由があると認められるときは、これを尊重して免許(承認)処分」に反映させる措置を講じること(昭和49年6月14日建設省河政発第57号通達)とあります。公告縦覧が終わると、県は地元名護市長に意見を求めます。市長は市議会の議決をふまえて沖縄県に意見を出します(原則として4か月以内)。名護市長への激励が必要です。また、土木建築部は環境部局など関係機関との協議が行われます。これらの過程を可視化させて、不承認処分を実現しましょう。埋め立て申請の(不)承認処分には何時までという期限がありません。埋め立て反対と来年1月予定の名護市長選挙をセットで闘いましょう。第2ラウンドの始まりです。

\*意見書の提出先などは、8面をご覧ください

報告

＜環境保全に背をむけた那覇地裁判決＞

2月20日、那覇地方裁判所で、「名護市辺野古環境影響評価手続きやり直し義務確認等請求訴訟」の第1審判決がありました。午後1時から行われた事前集会には120人が参加。本土のマスコミも多く参加する中で、安次富浩・原告団長が4年間の裁判を振り返り決意を語る。傍聴希望者が多いので裁判所が抽選時間を早めた。

裁判長が「1. 方法書などのやり直し義務の確認の訴えを棄却する。2. 損害賠償請求を棄却する」と判決主文を読み上げると、弁護士2人が広場で待つ仲間のもとに走る。判決要旨が読み上げられる中、原告団からは野次とため息が漏れる。

終了後の抗議集会で、安次富原告団長は「何のために裁判官は現地調査をしたのか。怒りが収まらない」。三宅弁護団長は「門前払い判決。裁判所は権能を放棄して、行政を守る砦となった」「負けたのは裁判所」、金高弁護団事務局長は「環境を保護するための手続きなのに、実際に影響を受けるものに意見を述べる機会を与えなくとも構わないとする判決はおかしい」と次々と批判する。

午後6時から国際通りにある八汐荘で記者会見と報告会。判決文(全文)を検討したうえで、問題

点を確認。最後に、安次富原告団長から、建設させない運動を進める中で、不当判決糾弾の闘いを進めるとまとめた。後日、原告団は控訴を決定。新たな原告団を結成。

沖縄のマスコミは「法の正義に背を向けた」(琉球新報社説2月21日)、「住民参加を軽んじるな」(沖縄タイムス社説2月21日)などと判決を批判している。(事務局 蛭川義章)



裁判終了後の抗議集会で、判決を批判する東恩納琢磨原告団事務局長

## 2/17「月桃の花」歌舞団・那覇公演で 署名集め

# 埋立を止めよう☆

歌舞団は映画「GAMA—月桃の花」に込められた「命どう宝（命こそ宝）」の心を全国に広げようと、普段は首都圏と関西に拠点を置いて活動をしています。今回、去年から計画してきた那覇公演を行うと聞き、新しい署名を持ってブース参加してきました！二部ではSDCC代表・海勢頭豊率いる海勢頭バンドのコンサートも行なわれましたよ。劇の舞台は沖縄北部に住む家族。派遣切り、失業、基地問題、オスプレイ、戦争体験、イラク戦争に出兵した米兵の苦悩など、傷つき暗闇から希望をみつけ人間らしく生きたいと前向きに歩き出していく物語です。上演後ある劇団員が「沖縄の問題を、現地で上演するのはドキドキで、勇気がいった」と話していました。最後に会場から「良かったよ～」と声がかかった時はホッとしていた事でしょう。私も劇団員に負けずと「埋め立てをさせないために署名にご協力お願いしま～す」と大きな声で頑張りました♪（沖縄 小平裕美）

沖縄



首都圏

## 「沖縄大問題シンポ STOP! 高江・辺野古・泡瀬・大嶺」に参加して

2月23日、東京・台東区民会館で開催された「沖縄大問題シンポ STOP! 高江・辺野古・泡瀬・大嶺～米軍基地・公共事業から沖縄の自然と暮らしを守る」に発表者のひとりとして参加しました。沖縄の緊急の課題である、辺野古、高江、泡瀬、大嶺の問題ということで会場は満席となり、沖縄からの報告など最新の情報・取り組みが報告されました。

特に2月20日に出された辺野古アセス裁判の不当判決について、ヘリ基地反対協議会の安次富浩さんから報告がありました。今回の判決は、アセスの中身に踏み込まず、門前払いする不当判決であり、控訴して闘うと決意が表明されました。

SDCCからは、IUCN（国際自然保護連合）に関する取り組みの経過・到達点として、三大会連続して「沖縄のジュゴン保護に関する勧告・決議」が採択されていること。日本政府が国際世論に背を向け採択に棄権し、IUCN 勧告・決議を誠実に実行していない現状について報告しました。また2012年の第5回世界自然保護会議（韓国済州島）での取り組みを報告してきました。

ブースでは、SDCCから安倍首相宛の新署名コーナー、ジュゴンマスコット販売など出店しました。参加者全員に署名用紙を配布していただき、その署名を手にした女性からは、「署名を集めて送ります！」と声をかけられました。

昨年安倍新政権が発足し、辺野古・大浦湾の埋め立て申請が強行される動きがある中で、各団体が連携して取り組むことが重要であると実感しました。（首都圏 三村昭彦）





# 新署名スタート さよなら原発 3.10関西2万人行動に参加!

3月11日どう過ごされましたか?地震・津波・原発事故から2年が経ちました。日々の暮らしに紛れて忘れていなかったか、そんな思いを持ち参加した。安全な原発は再稼働すると安倍首相は言う。安全ってありえる?原発事故はとり返しがつかないとわかったのに、放射能の影響を気にせずに暮らすことができなくなってしまったのに、この国はまだまだ変わっていない。中之島公園には1万人が集まった。子どもたち、母親たちもたくさんいた。私たちは署名を集めさせて頂いた。「うん、うんわかるよ」と皆さ



ん協力してくれた。静かにベンチに座っていた老夫婦が「なんの署名を集めているの」と声をかけご苦労さまと応じて下さった。その姿が心に残っている。“あきらめない” 雨の中をデモはスタートした。多くの人に『自分のこと』と意識してほしいと願って。命よりも経済優先のこの社会を変えたいと強く思う。ジュゴンの棲む海を守るという思いを広げることで実現していきたい。

(関西 池側恵美子)

大阪

## 「アセス補正評価書、埋め立て申請」学習会



3/9、アセス補正評価書、埋め立て申請学習会を大阪で開催しました。ジュゴンの里ツアーに何度も参加されている方、「ジュゴンでトレイン」に参加してくれた方などが参加されました。また元環境アセス学会会長の島津康男さんがこの学習会を知り、自ら参加されました。

まず2/20の辺野古アセス訴訟判決。「事業者は住民に配慮すればよく意見は権利ではない」と訴えを棄却。現地では「最悪の判決」と批判が高まり控訴したと報告されました。

次に沖縄防衛局が沖縄県に提出した「補正評価書」。この補正評価書も「環境保全是不可能」と新基地建設中止を事実上求めた知事意見に全く答えていません。参加者から「辺野古大浦湾が生物多様性のホットスポットであることをもっと認識すべき」「埋め立て土砂の問題はずっと指摘されているのに、いまだに不明確とはひどすぎる」などの意見が出ました。

3月末に政府は沖縄県に埋め立て申請を行うと報道されています。申請された時、何ができるか話しあいました。島津康男さんは「埋め立て申請には、手続き完了時期の法的期限はない。知事は

握りつぶすこともできる」と話されました。各々の「埋め立てはできない」思いを意見書にして、沖縄県を支えていこうと話しました。「埋め立て反対」の署名と合わせ、意見書を集め、辺野古大浦湾を埋立させない世論を強くしていきたいです。

(関西 松島洋介)



元環境アセス学会会長の島津康男さんに貴重なお話を伺いました。





# 第9回京都・環境教育ミーティング

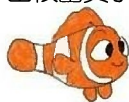
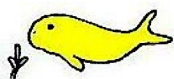
3月2日(土)、京都の龍谷大学で開催された、第9回京都・環境教育ミーティングに参加しました。環境教育や環境保全活動に関心のある市民をはじめ、学生、NGO/NPO、事業者、

教育・行政関係者、環境学習施設関係者が約300人集まって、講演や発表が行われました。SDCCは「活動を広めたい!知らない人に振り返ってもらう方法」というテーマで発表しました。

ジュゴンの現状、沖縄の基地のこと、アセスのことなどを、街頭やイベントで出会った人に、簡単に一言で伝えるのはなかなか大変です。難しい政治問題だと敬遠されてしまうこともあります。そんなときに着ぐるみジュゴンちゃんが大活躍。ジュゴンがジュゴンの折り紙を配ると、つい受け取ってします。これが関心を持ってもらう第一歩。音楽に合わせてジュゴン・ロックを踊り出すと、廊下に人だかりができるほど大注目でした。そして、ジュゴンでトレイン!や、写真展、生物多様性パレードなど、多くの人に知ってもらうための手段あれこれを紹介しました。

後半は、関心を深めて活動に参加してもらう方法のひとつとして、「じゅごんの里ツアー」についてお話ししました。毎年現地を訪問するスタディツアーのインパクトは絶大。実際、このツアーがきっかけで、スタッフになったメンバーも多いのです。今回は、SDCCの活動方法を通じて、ジュゴンのことを知ってもらおうという試みでしたが、NPOで活動中の方たちから「参考になった」と好評でした。

(関西 山根富貴子)



着ぐるみジュゴンちゃんもご挨拶。みなさん思わずカメラを手に!



折り紙を配るジュゴンちゃん



## おきなわ便り

### ～お墓参りでピクニック～

「シーミー(清明祭)いつやるね?」

4月になると親戚で電話し合って日を決め、お墓参りする行事があります。

親戚が集まり、先祖供養の為に墓に重箱(ご馳走)やお菓子を供え、その後、ピクニックのように供え物を食べて、おしゃべりして帰るのです。

沖縄本島南部地域で比較的盛んに行われ、本島北部や離島ではあまり行われていないようなので、地域差があるようです。

私は毎年シーミーを楽しみにしています。親戚の参加率が高い行事なので「元気だった?」から会話が始まり、

先祖の思い出話が聞けたりします。

「この天ぷらおいしいね。どこで買ったの?」など、たわいもない話で、ゆったりした気分にもなれます。

それぞれに持ち寄ったご馳走を見るのも、食べるのも楽しみです。

目には見えないけれど、きっとご先祖様も輪に入って話を聞いて楽しんでいるのかもしれないね。

今年のシーミーも楽しみです。どうか晴れますように!

(沖縄 仲村)



# 龍宮神物語 出版決まる ～こらむ・コラム～

「沖縄戦フィルム 1 フィート運動の会」が30周年を迎え、活動の幕を閉じた。八汐荘での解帯パーティー会場で、同会設立に尽力された大田昌秀先生が、カンパのあいさつに立った。「沖縄にとって今年がこれまでになく一番厳しい年になります。みんなで力を結集しガンバリましょう」と話された。

私は大田さんと久しく会っていなかった。那覇市西に「沖縄国際平和研究所」を開所との連絡を受け、1フィートフィルムの上映もできるようにしたとのことだが、私はまだそこも訪ねていなかった。みんなと約束した本の執筆に追われていたからだ。そしてやっと藤原書店に出稿したばかりである。

「月桃」「キセンバル」「トゥーヌーマーヌー」を歌ってステージを下りた私に、大田さんは「久しぶりだね、うちの研究所でも歌ってちょうだいよ、CDの販売も出来るから」と話しかけてきた。「今、何をしているの?」と言うので「本を書いています。5月には出版パーティーをする予定です」と応えた。大田さんはきょとんとして意味が呑み込めないようであったが、無理はない。

私は沖縄県知事選や参議院議員選挙のたびに彼を応援してきた。それは大田昌秀がカリスマ的に沖縄をまと

めた一つの時代であったためであったが、今や極右思想に押された安倍自民党政権の誕生を見るに到り、思想的には勝利していても政治的には大敗北の時代を迎えてしまったのである。

私は大田昌秀知事が日本国大審裁判(注)で敗れた時からそのことを予期していた。そして何とかしてヤマトによる沖縄差別の根元を明らかにしない限り、この問題は解決出来ないと考えてきた。大田さんが私を政界に出そうとしたが、断ってきたのはそのためであった。

あの時から私の考えが理解できないままの大田さんである。願わくば「卑弥呼コード・龍宮神物語」をお目通し頂き、最後の戦いの新たなる道標に「龍宮神ジュゴン」が存在しているをご理解下さいますよう、すぎる思いであった。

海勢頭豊(うみせど ゆたか:SDCC 共同代表)

(注) 1996年8月米軍用地の強制使用期限切れ(11施設・約3千件)を前に、大田知事(当時)が国に代わって行う代理署名手続きを拒否できるか否かについての裁判。

## ～小さな雑貨屋～

### おおきな木

初めまして、大阪市の谷町で小さな雑貨屋「おおきな木」を昨年6月からオープンしました。じゅんちゃん&はなちゃんです。

店内には、古道具古家具レトロ雑貨が並ぶコーナーと、フェアトレード商品や、色々な支援品を、扱わせて頂いております。

ジュゴングッズも、その一つです。

沖縄の基地のこと、オスプレイのこと、やんばるの森のこと、沖縄で起こっている問題ですが、沖縄で暮らす方々だけが考えるのではなくて私たちの問題だと思っております。

雑貨屋ですので色々な年齢層のお客様が来店下さいます。



「ジュゴンって?」からでも何か心に残るきっかけに、お店がなれたらいいな、と店員2名で思っております。

色々な面白いモノがございますので、ぜひお立ち寄り下さいませ。

<お知らせ!!>

4月21日(日)奈良アースデイに「おおきな木」出店させていただきます。

奈良公園お近くの皆様一ぜひ遊びにいらして下さいね。

雑貨屋おおきな木

営業時間 13時～18時ごろ

土日祝 11時～17時ごろ

定休日 月曜日

大阪府中央区瓦屋町1-1-1(谷町 空堀商店街近く)

電話&FAX: 06-6191-0750

ブログ:

[http://ameblo.jp/nausika-0930/entry\\_list.html](http://ameblo.jp/nausika-0930/entry_list.html)

メールアドレス ookina\_ki@me.com

店員 手話できる者1名

筆談にて対応1名です。

(おおきな木 花岡、大谷)



## 第13回SDCC総会 (in 大阪)

日時: 3月31日(日)午後2時～  
 場所: ドーンセンター(地下鉄・京阪天満橋駅下車)  
 ※参加費無料

<プログラム>

1. 沖縄からの報告
  - \* 沖縄の動き…海勢頭豊 SDCC 代表
  - \* 辺野古、高江での闘い…吉川秀樹(沖縄BD ネット)
2. 第2回ジュゴン保護署名国会議参加報告
  - …正阿彌崇子(SDCC 国際担当)
3. 活動・会計報告
4. 交流会 楽しく交流しながら、方針など話し合しましょう。

## ※第8回じゅごんの里ツアー (沖縄)

\* 辺野古現地を訪れ、地域の方々と交流、素晴らしい自然に触れるスタディツアーです。ぜひ一度ご参加ください。

日程: 6月28日(金)～30日(日)  
 ツアー費用: 70000円(関西発着)  
 \* 東京発の料金は、検討中です。

※費用内訳: 飛行機・宿泊2泊・船・ガイド料・レンタカー・保険・食事(1日目の夕食～3日目の昼食まで)  
 ※現地参加や途中参加もできます  
 ※現地参加費は参加形態により異なりますのでお問い合わせください(那覇からの参加で35000円)。  
 ※お問い合わせ、申し込み用紙のご請求は下記事務所へ

### 【第1回・ジュゴン連続講座】

大阪

「ジュゴンってどんな生きもの？」

お話し: 浅野四朗さん(元鳥羽水族館副館長)

◆日時 5月19日(日) 14:00～16:00

◆場所: なんば市民学習センター  
 (JR難波駅OCATビル4階)

資料代: 一般1000円 高校生以下 500円

講師の浅野四朗さんは、鳥羽水族館のジュゴン・セレナの育ての親。ジュゴンを守るために、ジュゴンのことを知ろう☆

### 《スケジュール》

【首都圏】

- ◇4/1(月) 毎月第1月曜の防衛省抗議行動 @防衛省正門前
- ◇4/19(金) 環境省・防衛省・外務省との交渉
- ◇4/20(土)～21(日) アースデイ東京 2013@代々木公園  
NPOビレッジにブース出展
- ◇5/26(日) 埋め立て反対の屋内集会、デモ(会場は未定)
- ◇「毎月15日はジュゴンの日♪」の取り組み

【関西】

- ◇7/15(月・休) あっちでこっちで、ジュゴンでトレイン!  
ジュゴンのこと、楽しく広げよう! 大阪から全国ご呼びかけます☆



## 埋立NO! 意見書を送りましょう

意見書の提出先: 沖縄県土木建築部海岸防災課長

〒900-8570 沖縄県那覇市泉崎1-2-2 行政棟11階北側 TEL: (098) 866-2410 FAX: (098) 860-3164

<埋立申請の流れ>

埋立申請 → 形式審査 → 公告縦覧(3週間) → 内容審査 → (不)承認処分

\* 公告縦覧中(3週間)に利害関係人の意見提出が出来ます(ジュゴンの海を守りたい人は、利害関係人です)

\* 内容審査では、名護市の意見(議会決議/4か月)を聞き、環境部局などと協議します。

詳しくは、SDCCのHPをご覧ください



### 新署名、すべり出し好調★

1月末にスタートした、埋め立て断念を求め新署名、街頭やイベントでの反応は上々。会員の皆さんからの署名郵送も届きはじめています。現在約1千筆。秋までに1万筆が目標です。ご協力よろしくお願いたします。お願いたします。



### 求むジュゴンサポーター(ニュース購読会員)

SDCC 会員、ボランティアスタッフを募集しています。会員の皆様も、まわりの方へのお声かけお願いたします。

### Editor's Note

4月の政府交渉とアースデイ東京には、関西からもスタッフが上京します。3/31の総会、アースデイと全国のスタッフが顔を合わせ、互いの近況を披露しあったり、新年度の方針を話し合ったり。特にアースデイ東京は、ジュゴンパワー全開の場面です。お近くの方、どうぞSDCCのブースをのぞきにきてください。また次号での報告もお楽しみに☆(山根)

ジュゴンちゃんぷるニュース VOL. 67 2013年3月26日発行  
 ジュゴン保護キャンペーンセンター Save the Dugong Campaign Center (SDCC)  
 〒162-0815 東京都新宿区筑土八幡町2-2-1  
 第1千代田ビル301 なかま共同事務所内 TEL/FAX 03-5228-1377  
 ○ <http://www.sdcc.jp/> ○ [info@sdcc.jp](mailto:info@sdcc.jp)  
 (関西連絡先) 〒534-0025 大阪市都島区片町2丁目9番21号野口ビル302  
 TEL/FAX 06-6353-0514

### 会費(2000円)&カンパ振り込み先

郵便振替:

加入者名 ジュゴン保護キャンペーンセンター  
 口座番号 00140-9-660199  
 他行、コンビニからは: ゆうちょ銀行 ○○八支店  
 口座番号 普通 8159084